



清新一中学校だより

出会いの泉

教育目標

- 自ら学び 進んで働く生徒
- 心身ともに健康な生徒
- 自他を尊重して
協調性を発揮する生徒
- 社会に対する責任を自覚して
実践する生徒

令和7年度 第8号 令和7年12月1日発行

襷（たすき）をつなぐ

校長 松木 千明

11月30日、本校生徒が駅伝で見事に関東大会出場を果たしました。秋の澄んだ空気の中、紅葉で彩られた群馬県渋川市の山間を走る生徒たちの姿は、応援している皆様に大きな感動を与えました。仲間から仲間へと襷をつなぎ、全力で走り抜いたその姿は、一つの競技を超えて「人と人とのつながり」を象徴しているように思えます。襷には、選手一人ひとりの努力や思いが込められています。そしてそれを受け取った者は、その重みを感じながら次の一步を踏み出します。学校生活もまた、この「襷をつなぐ」営みの連続ではないでしょうか。

私たちの学校には、日々の授業や行事を通して、先輩から後輩へ、先生から生徒へ、そして友だち同士へと受け継がれていくものが数えきれないほどたくさんあります。知識や技術だけでなく、励ましの言葉や温かな心もまた、襷のように手渡されていきます。例えば、先日の合唱コンクールで響き合う声には、学校の最上級生の3年生たちの素晴らしい合唱が後輩たちに努力・情熱などの襷をつなぎました。日々の授業でも、先生からたくさんの「襷をつなぐ」ことが感じられます。こうした積み重ねが、学校という大きなチームを形づくっているのです。「襷をつなぐ」ことは、単に「受け渡す」だけではありません。そこには「信じる心」が必要です。前を走る仲間を信じ、次に走る仲間を信じ、自分自身を信じる。その信頼があるからこそ、襷は途切れることなく未来へとつながっていきます。学校生活においても同じです。友だちを信じ、先生を信じ、そして自分の可能性を信じるのが、学びのリレーを力強く進める原動力となります。

また、襷には「責任」も込められています。受け取った襷を落とさず、次へとつなぐためには、自分の区間を精一杯走り抜かなければなりません。勉強に取り組む姿勢、部活動での努力、日常の小さな思いやり——それら一つひとつが、自分の区間を走ることにあたります。誰もが自分の役割を果たすことで、学校全体の襷リレーは完成するのです。そして忘れてはならないのは、襷をつなぐ過程で生まれる「絆」です。走り終えた仲間の肩をたたき、次に走る仲間を励ます、その瞬間に芽生える絆は、勝敗を超えた価値を持っています。学校生活でも、困難を乗り越えたとき、互いに支え合ったときに生まれる絆こそが、人生を豊かにする宝物となります。

「襷をつなぐ」とは、学校そのものの姿を映し出しています。仲間と共に信じ合い、責任を果たし、絆を育む。その積み重ねが、学校を温かく、力強く、そして未来へと開かれた場所にしていきます。これからも清新一中に関わる皆様全員が、襷をしっかりと握りしめ、次の仲間へと心を込めて渡していきましょう。



《東京2025デフリンピック》

11月19日（水）、デフリンピック（きこえない・きこえにくい人のためのオリンピック）のバレーボール観戦に1年生とF組が行ってきました。貴重な機会、とても良い体験になりました。



《鎌倉校外学習》

11月21日（金）古都鎌倉に1年生が校外学習に行ってきました。当日は快晴でとても暖かく校外学習には大変良い天候でした。西葛西駅から班行動、1日歴史ある寺社仏閣を巡り、日本の文化を学びました。また、多少のトラブルはありましたが、班行動をすることで、協力すること、助け合うことの大切さも学びました。様々なことが学べた校外学習となりました。



《表彰》

○陸上競技部

【第40回(女子)東京都中学校駅伝競走大会】 第4位 ※第34回関東中学校駅伝競走大会出場

12月行事予定

1	月	三者面談始(全) 生徒朝礼 安全指導	17	水	職員会議
2	火		18	木	
3	水		19	金	がん教育②(2・2F・3F)
4	木	区学力調査(1・2) 連合学芸発表会リハ(F)	20	土	
5	金		21	日	
6	土		22	月	笑顔と学びの体験活動プロジェクト⑤⑥
7	日		23	火	大掃除(体育着登校)
8	月		24	水	職員会議
9	火	三者面談終(全)	25	木	終業式 給食終 職員会議
10	水	避難訓練	26	金	冬季休業日(始)
11	木		27	土	
12	金	連合学芸発表会(F)	28	日	
13	土		29	月	学校閉庁日
14	日	ESAT-J(予備日)	30	火	学校閉庁日
15	月	全校朝礼 三年私立入試相談始	31	水	学校閉庁日
16	火				